



進路だより

2019冬号

2020(令和2)年2月14

成長途上の皆さんへメッセージ

進路指導部副部長 長谷川大

1 「〇〇さんのようになりたい」というロールモデルを持つ。

→身近な目標を持つことで、その人の行動パターンを観察し考察する習慣がつけば、成長につながる。

2 大きな目標と小さな目標を使い分ける。

→進路実現に向けて大きな目標をまず立て、それに向けて何ができるか、小さな目標の設定とクリアを繰り返す。

3 過去の小さな成功体験にこだわると、変化を恐れ成長の機会を逃してしまう。

→変化のためにはこれまでのやり方を捨て、ゼロから取り組むことができるかどうか。それが成長の分かれ目になる。

4 言い訳は成長の敵。

→失敗を他人や環境のせいにして言い訳していると同じことを繰り返す。失敗を認めて初めて次へ進むことができる。

5 できる人は、時間を有効に使える人。

→緊張感があれば遅刻などしない。遅刻する人はどこか相手への敬意を欠いている。

1年生に向けて

進路指導部1学年担当 長谷川麻子

国語総合の授業で「真の自立とは」という文章を読みました。「自立」とは、誰にも頼らず何もかも自力で行う「非依存」ではなく、いざというとき助け合う「相互依存」のネットワークが常にできていることであり、そういう「自立」が、各人の「生きる意味」を支える、という内容でした。

みなさんが進路を決めるに当たって、誰の力も借りないということはありません。生活を支えてくれている家族はもちろん、就職にしろ進学にしろ、学校を通して出願する以上は先生方に頼らざるをえません。出願先との連絡を取ったり、調査書や推薦書を書いたり、面接練習をしたり、先生方はみなさんのために時間を割きます。また、部活動の先輩やアルバイト先の社員さんから進路についてのアドバイスをもらうこともあるでしょう。友達に悩みを相談することもあるでしょう。では、これはみなさんが周りに「依存」するだけの、一方的な関係でしょうか。それは違います。周りの人たちは、みなさんに頼られることで「自分が役に立っている」と感じたり、合格や内定の報告、お礼の言葉に喜んだり、「手のかかる子だから何とかしないと」と奮起したり…。周りの人たちの「生きる意味」は、みなさんに支えられているのです。だから、遠慮なく周囲を頼って、たくさん相談して下さい。自分を必要としてくれる人を、人は愛しく思うものです。「自分の人生だから人には関係ない」とつながりを拒否するような態度を取っていたら、いざという時に誰も相手にしてくれませんか。困った時に助けてくれる人を、今からたくさん見つけましょう。進路目標を達成するためには、欠席しない、評定を上げる、もちろん大事ですが、本当に大切なのは、人とのつながりではないかと思います。まずはみなさん、ぜひ、進路室へ！

先輩の話を聞く会

1月22日(水)今年就職の内定や進学で合格した3年生の13人から体験談を1,2年生に話してもらいました。先輩方の話は、受験先を決定するまでの悩みや面接練習や小論文練習の大変だった経験、合格や内定を知った時の喜びなどまさに最近経験したことを後輩たちに「来年、同じ喜びを経験してください。」というメッセージとして伝えてくれました。多くの1,2年生は何かを感じてくれたようで、この日から放課後の進路室は1,2年生の進路相談で毎日満員状態です。毎年のことですが、うれしいですし、こうやって宮農の歴史や伝統というものが作られていくと感じます。



今年の就職と進学を振り返って

進路指導部長 加藤淳

今年度の就職者の特徴は一言でいうと「チャレンジ」です。これまではなかなか受験をためらっていた事業所に果敢にチャレンジした生徒が何人もいました。もちろん、その結果内定まで至らなかったケースもありましたが、生徒たちがこの2年半で経験してきたことを一生命懸命奮って採用試験に挑んでいる様子が印象的でした。就職では、宮城県警や自衛隊一般曹候補生といった公務員や民間事業所でも宮城県農業共済組合や山元いちご農園、蔵王酪農センターなど部門の活動を生かした就職先が多くありました。また、仙台勝山館や日本郵便、アイリスオーヤマなどにも合格しました。進学では茨城大学と帯広畜産大学の国立大学2名をはじめ、酪農学園大学や東京農業大学といった4年制大学に18名合格したほか、東京都立看護専門学校にも合格者が出ました。今年の実績は必ず来年につながります。後輩の皆さんも自分の目標達成に全力で取り組んでください。

2年生インターンシップ報告会

1月29日(水)3,4校時に今年度のインターンシップ報告会が2学年で開催されました。代表として18名の生徒がインターンシップを通して感じたことや経験したことを生き生きと発表してくれました。多くの生徒は中学校でもインターンシップを経験していますが、高校で行うインターンシップは、翌年に控えた就職試験に直結していくものです。今回のインターンシップを通して自分の適性や苦手な部分も見つけた生徒も多くいます。進路決定に向けた本格的な活動がスタートして、聞いている多くの生徒にも真剣さが見られ、充実した報告会となりました。



就職支援担当教員講話

1月29日、1年生を対象に就職支援担当教員の相沢功先生より就職に向けたお話がありました。就職に向けた心構えや事業所が求める人物像、今から努力できること、言葉遣いに至るまでわかりやすく説明していただきました。欠席日数や評定で内定率にはっきりとした差が出てくることなど、間もなく2年生となり、インターンシップを控えた生徒達も真剣に聞く姿が見られました。



進路室探訪



進路室は皆さんが相談に来たり、学習に来たりできる場所です。職員がいる部屋の他に相談室1から相談室3まで個室が並んでいます。この個室はそれぞれの部屋に特徴があって、進路室1にはホワイトボードがあり先生から入試に向けた勉強を教えてもらうことができます。指導室2は就職や進学に関する資料がたくさん並んでいますし、指導室3は廊下からも入室できるようになっており、面接練習に適しています。このような進路室、あなたの進路目標達成のために上手に活用してください。



勉強したら1マス塗りつぶし

1, 2年生の進路希望調査結果 (1月10日実施)

1年生 (令和2年1月実施)								進路未定
進学希望				就職希望				
4年制大学	短期大学	専門学校	進学未定	公務員	民間企業	自営	就職未定	
19人	5人	56人	13人	9人	81人	9人	0人	44人
8.1%	2.1%	23.7%	5.5%	3.8%	34.3%	3.8%	0.0%	18.6%
2年生 (令和2年1月実施)								進路未定
進学希望				就職希望				
4年制大学	短期大学	専門学校	進学未定	公務員	民間企業	自営	就職未定	
23人	3人	67人	8人	6人	108人	1人	0人	16人
9.9%	1.3%	28.9%	3.4%	2.6%	46.6%	0.4%	0.0%	6.9%